

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	1190400364		
法人名	株式会社ウイズネット		
事業所名	グループホームみんなの家・川越たかしな		
所在地	埼玉県川越市砂新田3-6-1		
自己評価作成日	平成29年10月17日	評価結果市町村受理日	平成30年2月22日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	有限会社プログレ総合研究所		
所在地	埼玉県さいたま市大宮区大門町3-88 逸見ビル2階		
訪問調査日	平成29年12月1日		

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

新しい施設の為、掃除を徹底して行っている。食事レクリエーションを頻繁に行っている。紫蘇ジュース、ゼリー作り、うどん作り、まんじゅう作り、流しそうめんなど行っております。玄關の園芸を利用者様と行ったり、世話をしています。内装の飾り付けも利用者、職員とともに作っています。

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

新規オープンした事業所ということもあり、トイレでの排泄困難を解消する福祉用具、階段下の倉庫、お風呂場と洗濯・汚物処理室が壁を隔てて隣接されている等、新しい工夫が随所にみられる。職員は、オープン当初から苦楽を共に分かち合い、共に工夫を凝らして運営に携わってきたので、団結力を強めている。管理者は、誰もが安心して働けるように考えて、慣れ親しんだ職員の支援により利用者の生活そのものが豊かになるような体制作りにも努めている。また、地域と事業所との繋がりをより深めて、生活の場としての臨場感を深めている。利用者・職員個々の自己実現ができる事業所として発展できる可能性を持っている。

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「思いやりを持って利用者様に寄り添い笑顔の毎日を送って頂けるホームへ」を掲げ、笑顔で声掛けする。利用者様の様子に合わせて声掛けを変えている	法人の掲げる理念を把握し、事業所内の理念を職員間で共有する。利用者への気持ちに寄り添い、利用者の安心につながるようにしている。フロアが違って、同じ気持ちで応えられるように取り組んでいる。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	夏祭りのお知らせ掲示、参加して頂く。	オリジナル体操は、事業所内で実施するだけでなく、掲示板等にもお知らせをして参加者を募っている。管理者は手紙を自治会、同業者、地域住民に出し、地域住民との交流を深めていく努力をしている。	オープン仕立ての事業所ということもあるが、積極的に自治会、地域住民との交流を深めていき、その努力が実って地域に密着した関係がより深く築けるようになることを期待する。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	ノーア体操という脳と頭の体操を施設で開催。地域の方、利用者様家族宛てに案内し参加してもらっている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では行事、ノーア体操の案内をし話し合いをしている。	家族会に合わせて年3回実施している。行政、地域住民が参加できるように日程を調整する。「参加者を増やすには、案内をどこに出すか、来ていただくための魅力をより多く引き出すには」と考えている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議のご案内をするなど連絡を取っている。	行政へ積極的に連絡をとることにより、連携を図っている。グループホーム連絡会の情報を自ら得ることで、参加に漕ぎつけ、存在をより強くアピールして、地域の要として活動をしている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束防止員会を実施して職員の理解を深めてケアに取り組んでいる	職員一同が一丸となり再発防止と予防策を講じている。介護現場未経験の職員だけに限定するのではなく、全ての職員の困りごとを把握し、身体拘束をしないケアの実践に取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止員会を実施して職員の理解を深めてケアに取り組んでいる		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度の勉強会チラシ配布している		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時は料金表や契約書合わせて見せて説明し行っている		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会にて意見を聞き、議事録で閲覧している。ご意見いただいたところは改善している。	生活面における小さな悩みも受け止め、即時解決できるようにしている。家族との交流を深めてきたことが、相互理解を深める結果となり、家族からの意見や協力が得られやすい環境となっている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議にて意見を聞き、必要な物品を購入したり、業務の改善をしている。	職員からの意見は直接、管理者、法人へ話せる環境にある。月1回のフロア会議では、利用者の行事企画・参加の希望を取り上げて実現をさせる等、運営に関する意見を反映している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	資格保有状況を把握し、資格が取れる様、研修に勧めたり、適時面談している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	本社の認知症研修や、スマイルコミュニケーションの研修に参加している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	今後予定している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	実調、入居時に行いケアプランに反映させている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	実調、入居時、面会時に意見をお聞きしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	家族から要望があった際は、こちらでお調べして案内を行っている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員も一緒に食事をとってコミュニケーションを取っている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会の支援、行事の案内を送付し施設に来て頂いている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会の支援、行事の案内を送付し施設に来て頂いている。外出の支援もしている。	予め家族、知人等からの了解を得ておき、本人から希望が出たときは対応できるよう心得ている。施設訪問、外出や外泊、買い物等を実施し、馴染みの関係を大切にしていける環境を整えている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	居室に一人にならないようお声掛けをしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	今後行っていく予定。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	常に意向をお聞きし、レク用品購入をしている。食事也希望に合ったものを提供している。	入居前に本人の生活状況を確認し、在宅にいたころと変わらないような生活ができるように、場合によっては医師と相談をして、晩酌の許可を得たケースもあった。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前にカンファレンスを行っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々、記録に記入し職員で共有している。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	なるべく多くの職員の意見を聞いてサービス担当者会議を行っている。	介護計画の見直し及びモニタリングは、3カ月、半年、退院時、要介護認定更新時等に行う。ADLの状況を本人と職員で確認し、介護計画を基に、利用者が快適に生活ができるように支援をしている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	見直しがあった場合、申し送りで共有している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ノーア体操を実施している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近所の店に買い物に行っている		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご家族が往診の立ち会いの希望があった際にはご案内し、支援している。	月に2回内科医の訪問診療、訪問歯科は月に1回、口腔ケアは週1回定期的に実施している。外来は、職員が身体の状態を把握して、医療と連携強化を図り、緊急時は24時間対応の医師との連携ができる。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護レポートを使用し連携を取っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	適時相談を受けている		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	今後行っていく予定。	看取りに関して職員の意識は高く、部内・外での研修を実施して、意識向上を図っている。社内の研修においては、看護部長が実施し、看取り介護への可能性を高めている。利用者・家族への説明は、入居時に理解が得られるようになっている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	電話帳を作成し連携取れる様になっている		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練行っている	警備会社への緊急通報システムが完備されており、緊急時には駆け付けて対応してもらうことができる。夜間想定避難訓練を実施し、夜間時における避難誘導の状況把握もしている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	更衣する際は扉を閉める、排泄ケアも隠すようにする、居室に入る際はノックをする	利用者の個人情報、鍵付きの書庫へ管理し、「予定をホワイトボードに記入する場合は利用者名の漢字一字を消す」、「洗濯物を干す場所は他者の目につきにくい場所に干す」等の細かい配慮をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご自分のやりたいこと掃除、食器洗い、歩行訓練を行えるようにしている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入浴は無理に声を掛けず調整をしている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	モーニングケア時に行っている、理美容も取り入れている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	好みの食べ物をお出ししたり、一緒に片付けをしている	調理は外部に依頼しているが、キッチンの扉をオープンにして、調理をしている様子を見てもらおう等、準備の様子を感じることも大事にしている。天然素材を活かす食事作りをしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量チェックし適時調節している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後行っている、適時訪問歯科と連携している		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	声かけ、介助が必要な方は時間ごとに行っている	排泄の確認は、人目に着かない場所で行わない、利用者の自尊心を守れるよう配慮している。時間での排泄誘導に加え、利用者の心身の状況にあわせた声掛けを心がけ、実行している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	お茶を勧めたり、好きな飲み物を提供し予防している		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	曜日を決めず体調の良い方やご本人の意思を尊重している	利用者の心身の状況にあわせ、入浴の時間を設定しており、希望の時間に対応することができる。声掛けを丁寧に工夫をすることで入浴に気持ちを向けるが、それでも無理な時は、清拭などで対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	無理にフロアにお誘いせず個人の時間を大切にしている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬情を個別で管理し適時確認している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	お手伝いやカラオケなどその人にあったものを提供している		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	希望に沿って玄関のお花の水やりや定期的に行ける様時間を決めて行っている	散歩コースの設定は、その日の天候、利用者の好みや状態に合わせておこなっている。出掛けることを嫌がる時は、声掛けに工夫し、無理強いはいしない。家族の協力により、外出・外泊し、家族との絆を深められるように支援している。	



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個人でお金を所持することを許可し、本人様が不安にならないようにしている		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	必要に応じて電話をかけている		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	トイレ、居室をわかりやすく表示。エアコンも必要に応じて調整。日にち、献立をわかりやすく表示している。	暑さ、寒さには気を使い、利用者一人ひとりに確認を取って温度調節をしている。見た目にも本物そっくりな道花を飾る等、生活空間を豊かにするための工夫がある。利用者、職員が共同で清掃する等、一緒に生活空間を作るような取り組みがある。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	椅子を多めに配置したり、ソファでくつろげるようにしている		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族に使い慣れたものを持ちこみして頂いている。写真、アルバムも持ち込みしてもらっている	家族が作ってくれた飾り物を持って来てもらい、職員と利用者が一緒に飾ったり、利用者自身が書いた物やレクリエーションの塗り絵作品を職員と一緒に飾り、自分の居室として認識して過ごせるよう支援している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	出来るだけドアの開け閉めをして頂いたり、車いすで自走できる方はしてもらっている		